

東京都立鷺宮高等学校 スクール・ポリシー

立志と挑戦



目指す学校

- ・教育目標を実現する学校
- ・生徒の力を伸ばす学校
- ・情熱と誠実さにあふれる学校

教育目標（鷺高の4C）

挑戦（Challenge）

高い志をもって、自己実現に向けて積極的に挑戦する生徒

協調（Cooperation）

自己を知り、他者を知り、社会を知り、友情を育む生徒

信頼（Confidence）

ルールやマナーを守り、誠実で責任感のある生徒

創造（Creation）

伝統の上に立ち、新しい文化を自らの力で創り上げていく生徒

スクール・ミッション

「挑戦・協調・信頼・創造」を教育目標に掲げ、志を高く学習と部活動・学校行事等に取り組み、主体的に活動し努力を続ける生徒を育成します。さらに、生徒一人一人の特性に合う自己実現を図るとともに、自主・自律の精神、自他を認め合う心、思いやりの心、規範意識を育み、社会に貢献する態度を育成します。

アドミッション・ポリシー

- ①高い志をもって卒業後の進路目標を定め、目標実現に向けて強い意志をもって「挑戦」し、新たな価値を「創造」する生徒
- ②基本的な生活習慣が身に付いており、他者と「協調」しながらルールやマナーを守って生活できる生徒
- ③学習と特別活動（部活動、学校行事、生徒会活動等）のどちらにも積極的に取り組むとともに、他者と「信頼」関係を築いて活動し、リーダーとしても活動できる生徒

カリキュラム・ポリシー

確かな学力（知）・自己肯定感や規範意識（徳）・健やかな心身と運動能力（体）の育成と、変化する社会に対応できる12の資質・能力を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。

- ①学習指導：生徒が主体的に考え、学ぶ意欲が湧く授業を実践し、学力の定着と向上を図る指導を行います。

情報分析・活用力やリテラシーを育み、一人1台端末などデジタル技術を活用した教育を行います。

- ②生活指導：生徒が自ら「鷺高プライド」を確立し、規律を重んじ自他を認め合う態度を身に付ける指導を行います。

- ③進路指導：生徒が自己や社会の将来を展望し、高い志をもって第一志望進路を実現する力を身に付けるキャリア教育を行います。

- ④特別活動：目標の実現に向け情熱をもって挑戦し、仲間と協調して努力を続ける心身を育成します。

ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事、部活動等を通じて、主体性と協働性を育み、自己肯定感を高める活動を行います。

- ⑤国際理解教育：語学力とグローバルマインドを身に付け、自文化や異文化を尊重する態度を養うとともに、英語4技能をバランスよく育成します。

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す12の資質・能力）

教養と基礎学力、課題発見・解決力、人間力と社会性を身に付け、高い志をもって立てた進路目標を実現し、自分で考え、判断し、行動できる生徒を育てます。

基礎的知識・技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の育成
① 基礎力・読解力	⑤ 思考・判断力	⑨ 人間力 （自立心・集中力・忍耐力）
② 論理的・多面的思考力	⑥ 課題発見・解決力	⑩ 自己肯定感
③ 英語力（語学力）	⑦ 創造力	⑪ 規範意識・社会性・協調性
④ 情報分析・活用力	⑧ 自己表現力	⑫ 知的な好奇心

【育成を目指す12の資質・能力に基づくルーブリック】

		A	B	C
基礎的知識・技能の習得	①基礎力・読解力	各教科・科目の学習において、基礎的・基本的知識をもとに応用・発展的内容が理解できるとともに、自らの力で問題・事象を読み解くことができる。	各教科・科目の学習において、基礎的・基本的内容が理解できるとともに、問題・事象をほぼ読み解くことができる。	各教科・科目の学習において、基礎的・基本的内容がほぼ理解できるとともに、問題・事象を読み解こうとしている。
	②論理的・多面的思考力	さまざまな問題に対して論理的に考え、複数の視点で捉えることができるとともに、自分の意見を整理して述べるができる。	さまざまな問題に対して論理的に考え、複数の視点で捉えることができる。	さまざまな問題に対して論理的に考え、複数の視点で捉えようとしている。
	③英語力（語学力）	英語能力検定に積極的に取り組み、CEFRにおけるB1レベル（英検2級以上）に達している。	英語能力検定に積極的に取り組み、CEFRにおけるA2レベル（英検2級・準2級）に達している。	英語能力検定に取り組み、CEFRにおけるA2レベル（英検準2級）にほぼ達している。
	④情報分析・活用力	適切な情報を収集し、情報発信者の意図を客観的に分析した上で、自分の価値観を含めながら活用できる	適切な情報を収集し、情報発信者の意図を分析した上で、活用できる。	適切な情報を収集し、情報発信者の意図を分析した上で、活用しようとしている。
思考力・判断力・表現力等の育成	⑤思考・判断力	物事を論理的・多面的・客観的に捉えるとともに、自らの経験を踏まえて状況に応じた適切な判断を行うことができる。	物事を多方面から捉え、根拠をもって考え、適切な判断を行うことができる。	物事を多方面から捉え、根拠をもって考え、適切な判断を行おうとしている。
	⑥課題発見・解決力	社会の事象に関心をもち課題を発見するとともに、仮説を立て、科学的な方法を用いて検証し、根拠を基に的確に解決策を導くことができる。	課題を発見し、解決のために科学的な方法や根拠を示して解決策を導くことができる。	課題を発見し、解決のために根拠を示して解決策を導こうとしている。
	⑦創造力	高い目標に向けて、他者と協調しながら挑戦し、新たな価値を生み出すことができる。	高い目標を掲げて挑戦し、新たな価値を生み出そうとしている。	高い目標を掲げて挑戦し、新たな価値を考えている。
	⑧自己表現力	自分の伝えたいことや考えなどを正確かつ効果的に表現できるとともに、相手の考えを理解した上で説得力をもって伝えることができる。	自分の伝えたいことや考えなどを表現できるとともに、相手の考えを理解した上で伝えることができる。	自分の伝えたいことや考えなどを表現しようと努め、相手に伝えようとしている。
学びに向かう力・人間性等の育成	⑨人間力 （自立心・集中力・忍耐力）	自らの意志で物事を考え、何事にも最後まで責任をもってやり抜くことができる。さらに、時間を意識して事に当たり、力を結集してより良い成果を生み出すことができる。	自分の考えを大切にし、何事にも責任をもって対処できる。さらに、時間を意識して事に当たり、より良い成果を生み出そうとしている。	自分の考えを大切にし、責任をもって対処しようとしている。さらに、時間を意識して事に当たろうとしている。
	⑩自己肯定感	自分の長所・短所を理解した上で、他者に対して適切に働き掛け、周囲に良い影響を与えることができる。	自分の長所・短所を理解し、良い点をさらに伸ばし、短所を改善していくための努力ができる。	自分の長所・短所を理解し、良い点をさらに伸ばしていくための努力ができる。
	⑪規範意識・社会性・協調性	社会で求められる倫理観や道徳観（ソーシャルスキル）を身に付け、他者と協働して行動できる。リーダーシップを発揮し、集団をより良い方向に導くことができる。	社会で求められる倫理観や道徳観（ソーシャルスキル）を踏まえた行動ができる。他者と協調して事を進めることができる。	社会で求められる倫理観や道徳観（ソーシャルスキル）を身に付けようとしている。他者と協調するよう努めている。
	⑫知的好奇心	自ら学んだことを生かして、学校知から日常知に結び付け、他の学習や生活にも発展させていくことができる。	いろいろな事象や現象に対して、問題意識の深まりとともにさらに解決したい意識を継続的にもっている。	いろいろな事象や現象に対して、問題意識と、解決しようとする意識をもっている。

中期的目標と方策 ～教職員の力を結集し全ての教育活動を通して～

(1)進路実現と卒業後の進路で活用できる力を付けて伸ばす

- ① 3年間を見通した意図的かつ計画的な進路指導・自学自習の習慣を育む指導
- ② 思考力・判断力・表現力など育成を目指す12の資質・能力を育む授業づくりと実践
- ③ 英語力（語学力）の育成・国際理解教育の推進

(2)人から信頼され社会人として自律・自立できる生徒を育てる

- ① 基本的生活習慣の定着と、挨拶の励行をはじめとする礼節指導
- ② 生命尊重・人権尊重に基づき自己共に大切にする指導
- ③ 教科「人間と社会」で道徳の実践力とボランティア精神の育成

(3)目標をもって挑戦し、努力し続ける心身を育成する

- ① 特別活動や部活動における意図的かつ計画的な指導・学習と部活動の両立を図る指導

(4)鷺宮高校の未来を創造する

- ① 新教育課程及び指導と評価の一体化の推進とカリキュラムマネジメントの推進
- ② 「総合的な探究の時間」の充実
- ③ デジタル技術を活用した教育の推進

今年度の取組目標と方策

学習指導

学ぶ意欲が湧く授業実践と、学力の維持・定着・向上を図る。

- 1 「学力が身に付く勉強のやり方」を各教科から伝授
(自宅学習習慣の定着、スタディサプリ等の活用)
- 2 授業外の学習時間を増やすための工夫
(自習室の整備、定期考査前・期間の学習、適切な課題)
- 3 「主体的・対話的で深い学び」を通じて思考力・判断力・表現力等を育むための工夫(パフォーマンス評価の活用)
- 4 模擬試験や検定試験(英語4技能ほか外国語)の活用
(学力推移の把握、英検受検促進)
- 5 学力スタンダードの活用
- 6 補習・講習を活用した学力の定着・伸長
- 7 読書活動の推進・図書館の積極的活用
- 8 政治的教養を育む主権者教育
- 9 体力の向上に向けた指導

生活指導

生徒が自ら「鷺高PRIDE」を確立し、規律を重んじ他者を尊重する態度を育む。

- 10 基本的な生活習慣の確立及びTPOを踏まえた身だしなみ指導(遅刻削減、チャイム始業)
- 11 学校安全計画を踏まえた防災教育・交通安全教育・薬物乱用防止教育・情報モラル教育の推進
(地域と連携した防災訓練、セーフティ教室、SNS ルール徹底)
- 12 生命や人権を尊重する道徳的実践力の育成といじめの未然防止指導(年間3回以上の個人面談、スクールカウンセラーとの連携)
- 13 特別支援教育コーディネーターを中心とする、発達障害等に関する理解の促進

進路指導

将来を展望し、高い志をもって第1志望進路を決定し実現する力を付ける。

- 14 3年間を見通した進路指導計画の実施・評価・改善によるキャリア教育
(模試分析会→教科会→授業改善サイクル)
- 15 進路ガイドブック「COMPASS & MAP」を活用した進路指導計画の系統的・組織的指導
- 16 「総合的な探究の時間」の活用・充実
- 17 生徒面談の計画的実施、三者面談や保護者会を活用した保護者と連携した進路指導
(面談週間の活用、年間3回以上の個人面談)

★伸ばしたい資質・能力

- ①基礎力・読解力
 - ②論理的・多面的思考力
 - ③英語力(語学力)
 - ④情報分析・活用力
 - ⑤思考力・判断力
 - ⑥課題発見・解決力
 - ⑦創造力
 - ⑧自己表現力
 - ⑨人間力
 - ⑩自己肯定感
 - ⑪規範意識・社会性・協調性
 - ⑫知的好奇心
- ★挑戦・協調・信頼・創造

特別活動・部活動

目標の実現に向け情熱をもって挑戦し、仲間と協力し全力を尽くす。

- 18 「主体性・多様性・協働性の素養」、「規範意識・帰属意識」、「自己肯定感や成就感の実感」を目指した指導
 - a ホームルーム活動
 - b 生徒会活動
 - c 学校行事
 - d 委員会活動
 - e 部活動
- 19 気力と体力の鍛錬を見据えた指導
- 20 地域行事等への参加による地域での異世代交流
(生徒会や部活動を通じた交流推進)

健康づくり

生涯を通じて健康な心身の保持・増進を図る力を伸ばす。

- 21 学校保健計画や学校安全計画等による健康教育
(オンラインを活用した健康観察、感染症対策の徹底)
- 22 スクールカウンセラーや専門機関、保護者との連携による心の健康の保持・増進(教育相談体制の充実)
- 23 食物アレルギー等の生徒情報の把握と事故防止
- 24 美化活動や省エネ活動による環境教育の推進

募集・広報活動

地域から信頼される学校、中学生が憧れる学校を目指し、鷺宮高校の特色の情報発信に努める。

- 25 学校説明会、部活動体験、体験授業等での組織的な学校PR活動
- 26 学校ホームページによる適時・適切な情報発信

学校経営への参画・組織体制

全教職員で協働して教育活動のさらなる充実を目指す。

- 27 教育課題に対応できる各種会議機能の向上と連携
- 28 「OJT診断基準」と「執務ガイドライン」の活用
- 29 新教育課程及び指導と評価の一体化の推進、カリキュラムマネジメントの推進
- 30 体罰や個人情報の紛失等の服務事故防止に係る取組
- 31 「学校2020レガシー」の推進(ボランティアマインドの育成)
- 32 国際理解教育の推進(海外学校間交流推進校事業の推進)
- 33 デジタル技術を活用した教育の推進
- 34 学校運営連絡協議会や学校評価を生かした学校経営
- 35 適正な就学支援金事務・奨学金事務
- 36 効果的な自律経営推進予算の編成と計画的な執行
- 37 「学校における働き方改革推進プラン」に基づく業務の効率化や、在校時間の縮減等によるライフ・ワーク・バランスの実現

数値目標

- | | |
|---|-------------------|
| ○ 1・2年到達度テスト(国語・数学・英語) | 正解率70% |
| ○ 1日の授業外学習時間 | 1年:1時間、2年:1.5時間 |
| ○ 英検2級・準2級合格者数 | 2級:25人・準2級:50人 |
| ○ 進路決定率 | 90% |
| ○ 補習・講習参加人数 | のべ2,500人 |
| ○ 体力テスト平均値 | 全学年都平均値 |
| ○ 部活動加入率 | 90% |
| ○ 部活動の成績 | 都ベスト8又は関東大会出場3部 |
| ○ 学校説明会等参加者人数 | 3,300人 |
| ○ ホームページ更新回数 | 400回 |
| ○ 入学者選抜実質倍率 | 推薦:4.0倍 学力検査:1.7倍 |
| ○ 学校評価アンケートにおける肯定的評価(生徒) | |
| ①学校満足度、②授業の取組、③進路指導の取組、④基本的
生活習慣定着度、⑤特別活動の取組 | 全て80% |

生徒の成長イメージ 生徒は鷺宮高校での3年間で、「〇〇できる・身に付ける」ようになった。

「教養、基礎学力、課題発見・解決力、人間力と社会性を身に付ける」

「自分の将来を見据えることができる」「自分で考え、判断し、行動できる」「あきらめずに挑戦・努力することができる」